

## 編集後記

2022年度の第1号では2件の研究紹介と8件の受賞報告がありました。

研究紹介1つ目の大谷先生らの記事は、量子物質  $\text{Mn}_3\text{Sn}$  におけるスピnhホール効果に関するものです。スピnhホール効果というのは電子が流れて曲がる時にスピnh角運動量を得る、すなわちスピnh偏極するというものです。曲がるのが本質なので通常は曲がる方向と垂直方向にスピnh角運動量が偏極します。しかし、 $\text{Mn}_3\text{Sn}$  は特徴的な磁気構造を有するため、驚くべきことに曲がる方向にもスピnh偏極したことを実験的に確かめたという興味深い記事です。一方で2つ目の加藤先生らの記事は、前述のスピnh角運動量を利用して物を回転させてしまおうという研究です。具体的には磁石からカーボンナノチューブにスピnh偏極した電流を流すと、カーボンナノチューブが軸方向に回るであろうことを理論的に証明されています。どちらもスピnhに関するものですが、毛色が異なり両方ともとても興味深い記事ですのでぜひご覧ください。

8件の受賞報告については、多くが写真付きで紹介されています。ぜひご覧頂いて受賞者の顔を覚えて頂ければと思います。

三輪真嗣

### 物性研だよりの購読について

物性研だより発行のメール連絡を希望される方は共同利用係まで連絡願います。

また、物性研だよりの送付について下記の変更がある場合は、お手数ですが共同利用係まで連絡願います。

記

1. 送付先住所変更（勤務先⇄自宅等）
2. 所属・職名変更
3. 氏名修正（誤字脱字等）
4. 配信停止
5. 送付冊数変更（機関送付分）
6. メール配信への変更

変更連絡先：東京大学物性研究所共同利用係

〒277-8581 柏市柏の葉 5-1-5

メール：[issp-kyodo@issp.u-tokyo.ac.jp](mailto:issp-kyodo@issp.u-tokyo.ac.jp)